

「嵐」メンバー・櫻井翔さん(丑土用従児格)の解命について

国民的アイドルグループ「嵐」は、今年令和二年末日をもってその活動を休止することを昨年の正月に電撃的に発表しました。一年余り経った現在も熱烈なファンやメディアなどは、グループや個人の今後の活動や結婚問題などに大きな関心を寄せています。しかし、命理を学ばれている方々が着目すべきは「嵐」メンバーの一人・櫻井翔さんの原命八字であります。

男 命 昭和五十七年(一九八二年)一月二十五日午前二時二十五分

群馬県前橋市生

傷官 辛 酉(庚辛) (食神 傷官) 大運 六才庚子 四六才丙申
 傷官 辛 丑(癸己) (正財 劫財) 一六才己亥 五六才乙未
 日主 戊 申(庚庚) (食神 食神) 二六才戊戌 六六才甲午
 正財 癸 丑(癸己) (正財 劫財) ☆三六才丁酉 七六才癸巳

(解命)

戊日干にして丑月土用の寒冷の候に誕生しています。立運は約六才四カ月です。陽干の戊日干は、月時支の二丑に根があるかの如くですが、丑月土用の己土は五行の中で最も衰えているのです。天干の二辛・申酉金に洩らすため、根としての作用働きはほとんど失われ、更に水に引通順流しています。命中では二干二支の重々の金(食傷)が最強となり(左の五行旺衰細分數値化力量計算を参照)、次いで時干癸水と二丑中の二癸水は共に強金から生じられ強められます。また日干戊土は、その時干癸水・正財と「牽絆依恋」の関係となる。

五行力量	合計	地支本気	地支余気	天干	戊日丑土用
5.7	3.8	2.8	0	1	土1.5 金2.5
15	6	2.6	1.4	2	水4
8.8	2.2	0	1.2	1	木4.5 火2.5
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

戊日干は、陽干とはいえ最強の金に洩身し一層弱まり、自立できなくなり、従って、本命は普通格には取れず、「棄命従格」中の「従児格」と取りまします。『滴天髓』には「児(食傷)に従うに身の強弱を管せず。ただ吾が見また児(財)を得るを要

す。」と云われる通り、金の食傷は水の財に引通流行し「食傷生財」の美をなします。命中には最強の金に悖逆する木火が断節しています。もし命中に木火があれば、火金剋傷・金木剋戦の忌をなしますが、命中に一点もないのが原命を良化している。

本命は、丑月の厳寒の候にありながら、丙火照暖の気が全く見られず、金水の寒気が甚だしいのです。『滴天髓闡微』「寒暖燥湿」の節において、任鐵樵氏は次の如く説いています。

「寒に過ぎる者は反って暖がないのを美とするし、暖に過ぎた者は反って寒がないのを宜とする所以です。」

この論が奇異に感じられても確かに多くの水火調候に係る特別格の命と照合すれば、理會納得がゆくものです。櫻井翔さんの命は、特別格の「從兒格」であり、調候丙火がなくても差し障りはないのです。

以上の解命から本命の用神は庚、喜神金水、忌神は木火、土は閑神（戊は忌に近い）と取ります。なお、食傷の金に比べて財の水も比較的強いため、運歳において財・水が食傷・金の力量を超えるほど強まると、忌の事象を伴うものです。なお、古書には「年上傷官恐るべし」と云われますが、本命の年上傷官（辛）は喜の作用働きを為すことから、これに該当しないのです。

次いで大運を観て行きます。

第一運六才〜一五才庚子及び第二運一六才〜二五才己亥共に北方水旺の喜神運を巡ります。『滴天髓』に「食傷に従うに日干の強弱に拘らず、ただ食傷がその兎に当たる財を得る必要があります」という大運を巡っているのです。庚辛金の食傷が喜用で最強、水の財も一層有力になるため、多能多才であって如何なる職に就いても多彩な才能能力を発揮できる。金・水（食傷・財）の高い感性と知性があつて利発で活発、才気煥発の幼少年期となります。また強い決断実行力も併せ持ち、しかも粘り強く、労苦多忙も厭わない頑張り屋です。水の音感・芸能関係にも優れた才能能力があり、早くから歌手・芸能関係の職に進み成功する所以であります。

生来、変化変動や自由を好み、人から束縛されるのを嫌う気質が具わることから大運流年によつては、食傷・金に比べ水の財が強過ぎ、やや忌の傾向も伴う。「金白水清」「食傷生財」の洩秀・流動性による変化変動が多く超多忙にもなつたのです。

（事実事象）

○出身小学校は、明治七年（一八七四年）開校の伝統校・慶応義塾幼稚舎。子供の頃から多くの習い事をしていた。三才からエレクトーン、十才からはピアノ、その他にも剣道、スイミング、ボイススカウトにも入っていた。小学校では、五年生の時からサッカークラブに入部、また高学年ではラグビーもやっていた。

○出身中学校は、難関の慶応義塾普通部に進学。

○出身高校は県内屈指の難関校・慶応義塾高校。高校三年生の一九九九年十一月（己卯年、満一六才）時にアイドルグループ「嵐」のメンバーとしてデビューしました。当然芸能関係の仕事量も急激に増えて行きますが、無遅刻・無欠席を通し、成績も落すことなくこの難関校を卒業しています。

○「嵐」メンバーとしてデビューの半年後、ジャニーズ事務所のタレントのまま系列の慶応義塾大学経済学部に進学。大学時代のテスト期間中は芸能活動で超多忙な中、事務所に出演スケジュールなどを調整してもらいながら、毎年必要な科目の単位を取得し、留年することなく同大学を卒業しました。

二六才からの第三運戊戌の前六年の土用運では、日干がやや強まるのと同時に、比劫争財の氣勢が加わり、幾分か意に反する苦労労苦が伴う（身の周りの人間関係の軋轢などが起因か？）。後四年の金旺運は喜神運、順風満帆で引き続き奮迅に活躍し名声も得ることができず（源半清、流前半清半濁）。タレント歌手・俳優・司会者・ニュースキャスターなどの多岐多様な職を卒なくこなすスーパーアイドルとして活躍したのです。なお多情な面があり、二六才戊戌運中での結婚（将来恋愛結婚となる）は、比劫争財の忌があることから自分の思った通りには進み難いものです。

続いて六才～四五才丁酉運も金旺・食傷の喜用運を巡ります。大運干の丁火（印綬）の忌神の力量は微弱、しかも原命八字の時干癸水によって滅火されるため、忌象はほとんど発現しないものです。前年の三七才己亥年では、原命八字の時干癸水が、一昨年の戊戌年に続き比劫争財の忌をなす雑乱があり、仕事や恋愛などは依然として上手くゆき難い。しかし本年以降の令和二年の庚子年、同三年辛丑年は、物事が自分の思い通りに順調に進むものです。四〇才以降も、同じく自己の才能能力を発揮できるというものの、その風向きが若干変わり始める。続く第五運の四六才～五五才丙申では、天干に丙火（偏印の忌）が透り、原命八字の年月干辛金（傷官）などを剋傷することから、命運のままに流されれば、若干の逆風に晒される恐れがあります。

（その他の事実事象）

父親は総務省の元事務次官で東京大学法学部卒のエリート官僚であった。母親は、櫻井家といえは父親より母親の方がスゴイといわれる実家の出で両親は恋愛結婚。きょうだいには、四才年下の妹、一三才年下の弟がいる。

（注記）

(1)従来の古典的命理学によれば、陽干の戊土日干が丑月の月令土旺である上にさらに時支丑土にも通根すれば、当然、特別格の「從見格」には取り難い。すなわち、丑月土旺生の普通格の「月劫格」と取るのです。また原命には、調候の丙火がな

く、金寒水冷・凍土不能生金にして八字には全く生氣がなく、位相は濁なる劣命と看誤まるものです。特別格の命の水火調候は、『滴天髓』の任鐵樵氏の解註の如く、特別な看方に拠るべきです。本命は特別格の従兎格と取ってはじめて解命と経歴・事実事象とが符合するのです。

(2)桜井翔さんのプライベートな経歴・事実事象は、インターネットのフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』の情報などから抜粋引用しています。

(令和二年(二〇二〇年)二月十一日作成)